

授業科目名・形態	助産管理論 講義	必修・選択の別	選択	
担当者氏名	三崎 直子	開講期	4年前期	単位数 2

【授業の主題】

助産管理に必要な理論、および助産業務の法的範囲と責任について学び、病院や地域における質の高い助産ケアを提供できる助産活動について学ぶ。

【授業の到達目標】

1. 助産管理に必要な基本的理論および助産師業務に関わる関係法規と責務、倫理を学び助産管理について考えることができる。
2. 助産実践および助産教育に関わる課題に応じた助産管理をすることができる。

【授業計画・内容】

- 第1・2回 助産管理の基本的理論、意義
助産業務と法的義務
- 第3・4回 助産業務と周産期管理
- 第5・6回 助産所の管理運営
- 第7・8回 母子保健と助産
地域および国際助産活動と他職種連携
- 第9・10回 出産施設における周産期管理
第6回 地域および国際助産活動と他職種連携
- 第7・8回 助産師の教育と展望、助産師のキャリアアップ
- 第9・10回 助産実践と評価、課題
助産師の教育と課題
- 第11・12回 演習
- 第13・14回 演習
- 第15回 助産師のキャリアアップ

【授業実施方法】

講義形式で行う。

【授業準備】

助産に関する科目の復習をしておく。

【主な関連する科目】

「看護マネジメント論」、「助産学概論」、「助産診断・技術学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ」

【教科書等】

助産学講座9、10 医学書院
我が国の母子保健-平成31年- 母子保健事業団

【参考文献】

授業で紹介します。

【成績評価方法】

筆記試験 100%

【学生へのメッセージ】

適宜意見交換をしますので、積極的に参加をしてください。